

農業農村整備の集い

－農を守り、地方を創る予算の確保に向けて－の開催

全国土地改良事業団体連合会（会長・二階俊博和歌山県土連会長）と都道府県土地改良事業団体連合会の共催による『農業農村整備の集い』が6月13日、東京都の「シェーンバッハ・サボー」で開催され、全国から土地改良関係者約800名（島根県内からは24名）が参集しました。

この集いは、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、それぞれの現場で直面している喫緊の課題を再認識し、これらの諸課題に緊急に対応するべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的に開催されています。

この度の集いには、農林水産省から齋藤健農林水産大臣をはじめ農村振興局幹部職員、西川公也内閣官房参与また自由民主党の竹下亘総務会長、公明党の井上義久幹事長ほか衆参両院の国会議員151名が出席されました。

はじめに、二階会長から「18年度当初予算と17年度補正予算を合わせて5,800億円もの予算を獲得し、民主党政権下で大幅に削減される前の水準に戻ったものの、改正土地改良法による新たな展開を図るためにも、この節目の年を実りあるものとするには“闘う土地改良”は終わることなく、これ（予算回復）だけで我慢せず、私たちが先頭に立って農業農村の発展のために尽力していきましょう」と挨拶がありました。

続いて、齋藤健農相が「闘う土地改良の皆さんと一緒に闘っていく」と表明され、竹下自由民主党総務会長からは「都会と地方が両方しっかりして初めて国家の力を発揮できる。地方を守るためには農林水産業の振興が必要であり、中でも農業は最大の柱だ。」と述べられました。

全国水土里ネット会長会議の進藤金日子顧問からは情勢報告、その後事例発表が行われ、最後に平成31年度当初予算の確保を訴えた要請書が全会一致で採択され閉会しました。

その後、本県からの参加者で県選出国会議員に対して予算確保に向けた要請活動を行いました。



会場の様子

■ 農業農村整備の集い	1
■ しまね農村景観フォトコンテスト表彰式	2
■ 土地改良法改正説明会及び土地改良区体制強化事業財務・会計実践向上研修会	3
■ 平成30年度土地改良管理指導担当者会議	4
■ 7月の主な予定	4

しまねの農村景観フォトコンテスト表彰式を開催

第21回しまねの農村景観フォトコンテストの表彰式が、6月3日（日）、益田市内の島根県芸術文化センター「グラントワ」多目的ギャラリーで行われました。

コンテストは島根の農山村の現状や魅力を広くPRしようと島根県と本会が平成13年から主催するもので、今回は、「風景」と「人物」のほか、施設部門とイベント部門に変わって「地域活性化」を新設し、3部門になり、県内外から518点の応募がありました。



表彰の様子

表彰式では最初に島根県農林水産部多久和技監の挨拶、その後島根県農林水産部農村整備課から応募の状況や審査結果等についての報告、次に審査委員長の写真家・川本貢功氏が審査員を代表して総評を述べられ、最優秀賞の飯塚さんら入賞者に賞状と賞品が渡されました。

川本審査委員長は、「最近のデジタルカメラには写りすぎといわれるほどシャープネスな作品も多く、それぞれの応募作品もピントや露出などは決まったように美しく撮れていました。特に高感度のカメラの画質と開放F値の明るいレンズとを組み合わせると、少しの明るさがあれば農家の屋内等暗い場所でも美しく撮れますので、この方にも目を向けていただき、人々の心に残るような作品を撮影していただきたい」と発言されました。

入賞作品は、今後県内の各地で巡回展示されますので是非お立ち寄りください。

巡回作品展の予定

展示会場	展示期間		
安来市総合文化ホールアルテピア（安来市）	6/23（土）	～	7/5（木）
七類港ターミナル（松江市）	7/17（火）	～	7/29（日）
石見海浜公園管理センター（浜田市）	8/4（土）	～	8/21（火）
ゆめタウン出雲（出雲市）	9/13（木）	～	9/25（火）
出雲空港（出雲市）	10/2（火）	～	10/14（日）
中電ふれあいホール（松江市）	12/5（水）	～	12/9（日）

その他に、「三瓶自然館サヒメル（大田市）」、「なごみの里（津和野町）」、「県庁ロビー（松江市）」でも展示を検討中です。詳細が決まりましたら、HPでお知らせいたします。

なお、入賞作品は、本会ホームページ (<http://www.shimanedoren.or.jp/publics/index/146/>) でもご覧いただけます。

◆第22回しまねの農村景観フォトコンテスト作品募集中◆

募集期間▼平成30年12月31日（月）まで（郵送の場合は当日消印有効）

応募・お問い合わせ先▼水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）または、最寄りの山陰フジカラー取扱カメラ店

応募要領等の掲載は、

しまねの農村景観フォト

土地改良法改正の説明会及び平成30年度土地改良区体制強化事業 財務・会計実践向上研修の開催

平成30年6月1日に成立した改正土地改良法について、複式簿記の原則導入など県内土地改良区への影響が大きいことから、6月27～28日本会にて、土地改良区役職員及び関係機関（県、市町村）を含め110名の出席のもと、土地改良法の説明会及び財務・会計実践向上研修会を開催しました。

開催にあたり、島根県農村整備課廣川正英課長の挨拶の後、農林水産省農村振興局土地改良制度検討室の青木公平課長補佐、同農村振興局整備部土地改良企画課の田井貴企画官による法改正の内容説明がありました。

また財務・会計研修では、全国水土里ネットの中央換地センターの浦山所長を講師に迎えて、主に資産評価の手法、複式簿記の研修を行いました。

研修では参加者から多くの質問・意見が出て、今回の土地改良改正に対する関心の高さをうかがわせる研修会となりました。

尚、本会は、複式簿記への移行にかかるサポートとして、会計指導員2名（本会職員）配置しています。問い合わせは、本会総務担当までご連絡ください。



研修の様子

改正の概要 = 詳しくは同封の資料をご覧ください =

1. 土地改良区の組合員資格に関する措置

- ◆ 所有者から耕作者への資格交替に係る農業委員会の承認制の廃止（届出制の導入）
- ◆ 農地中間管理機構が農地の貸借を行う場合の資格得喪通知の手続簡素化
- ◆ 貸借地の所有者又は耕作者で事業参加資格がないものに准組合員の資格を付与
- ◆ 理事の5分の3以上は原則として耕作者たる組合員
- ◆ 利水調整規程を策定し、利水調整をルール化
- ◆ 地域住民を構成員とする団体に施設管理准組合員の資格を付与

2. 土地改良区の体制の改善に関する措置

- ◆ 総代会制度の見直し
 - ・総代会の設置要件を組合員200人超から100人超に引下げ
 - ・総代選挙について選挙管理委員会による管理を廃止
 - ・総代の書面・代理人による議決権行使を導入
- ◆ 土地改良区連合の事業範囲を運営事務・附帯事業に拡大
- ◆ 決算関係書類として、収支決算書に加え、原則として貸借対照表を作成し、決算関係書類の作成・公表に係る手続規定を整備
- ◆ 監事のうち1人以上は原則として員外監事

平成30年度土地改良管理指導担当者会議

6月21日（木）、東京都の砂防会館別館において、全国水土里ネット主催の平成30年度土地改良管理指導担当者会議が開催されました。

会議では、農林水産省農村振興局担当官より「土地改良区の現状について」と題し講演があり、その中で6月8日に公布された土地改良法の一部を改正する法律の概要についても説明がありました。



また、今年度の維持管理適正化事業の中の施設改善対策事業のメニューに、高収益作物の導入の推進を目指す担い手や農業者のニーズに対応するため、「高収益作物の導入推進に資する整備補修（水管理の高度化など）」が新たに追加（拡充）されています。この事業で「水門・分水工の自動化・電動化」、「ポンプのインバータ方式への更新」、「水管理の高度化」、「給排水の自動化」などが実施できます。土地改良施設維持管理適正化事業の実施や施設の点検・診断等に関するご相談は、水土里ネット島根までお気軽にお問い合わせください。

7月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
7月 5日 (木)	平成30年度管内別業務説明会及び意見交換会（隠岐管内）	西ノ島町
7月12日 (木)～ 13日 (金)	ルーラル・ミーティングinしまね（H30）	益田市
7月19日 (木)	平成30年度管内別業務説明会及び意見交換会（県央管内）	美郷町
7月20日 (金)	平成30年度管内別業務説明会及び意見交換会（大田管内）	大田市
7月23日 (月)	平成30年度管内別業務説明会及び意見交換会（出雲管内）	出雲市
7月24日 (火)	平成30年度新規地区及び実施地区土地改良施設維持管理適正化事業説明会	県土連
7月26日 (木)	平成30年度管内別業務説明会及び意見交換会（松江管内）	安来市



水土里ネット島根 （島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp